

慶應義塾大学薬学部 物理・分析系講座（仮称）教授の公募について

慶應義塾大学薬学部では、下記のように物理・分析系講座（仮称）教授（講座主任）の公募選考を行います。

本学部は、6年制薬学科では「科学の基盤をもった、人に優しい薬剤師の育成」、4年制薬科学科では「創薬、臨床開発、環境・生命科学などの幅広い分野における卓越した研究者・技術者・教育者の育成」を目標としています。

1. 公募人員：教授 1名
2. 公募要件：物理・分析分野を研究基盤とする方で、学部学生の教育および大学院学生の教育研究に対する熱意と高い能力があり、本学部の運営にご協力頂ける方。
3. 応募資格：博士の学位を有し、以下に示す教育と研究を行う強い意欲を持ち、実践して下さる方。
 - 1) 教育：学部では薬学教育モデル・コアカリキュラム改訂案（薬学会ホームページ <http://www.pharm.or.jp> 等参照）における物理・分析化学関連講義（1年次の物理学、分析化学関連科目 C2、物理化学関連科目 C1 の一部）、演習、学生実習、卒業研究の指導。大学院では、講義、演習、研究の指導。
 - 2) 研究：物理・分析及びその関連の領域で、薬学を通じて社会に貢献し、かつ国際的に高く評価される先導的研究。
4. 着任予定 2015年4月1日(水)
5. 提出書類 下記の全ての書類について、原本1部、コピー5部をご提出ください。
 - 1) 履歴書（書式自由。写真貼付）
 - 2) 着任後の教育および研究に対する抱負（2,000字程度）
 - 3) これまでの研究の概要（2,000字程度）
 - 4) 研究・業績目録（書式を参照のこと：学術論文は掲載誌の最新の impact factor を記載）
 - 5) 主要論文別刷（コピー可）5編
 - 6) 外部資金獲得状況（研究費の種類、代表と分担の別、研究課題、受領期間、金額等を記載）
 - 7) 照会者（応募者について意見を求めることのできる方）2名の氏名、連絡先
6. 公募締切 2014年6月27日(金)(必着)
7. 応募方法 応募書類を「教員応募書類在中」と朱書した封筒に入れ、簡易書留にて送付して下さい。
8. 応募書類送付先および問い合わせ先
〒105-8512 東京都港区芝公園 1-5-30
慶應義塾大学薬学部 物理・分析系講座主任教授推薦委員会
委員長 金澤 秀子（創薬物理化学講座 教授）
Tel. 03-5400-2684, E-mail: kanazawa-hd@pha.keio.ac.jp
9. その他
 - 1) 当該講座は3名で構成され、スタッフ2名（うち1名は有期教員）の採用が可能です。
 - 2) プレゼンテーションや面接のために来学いただくことがあります。
 - 3) 慶應義塾大学薬学部は現在任期制（5年契約・再任可）を採用しています。
 - 4) 応募書類は返却いたしませんので、ご了承ください。
 - 5) 慶應義塾大学薬学部の詳細はホームページ <http://www.pha.keio.ac.jp> をご参照ください。

研究業績目録(例)

原著(学術論文については、掲載誌の最新の impact factor を記載)

番号・著者、
 題目
 誌名、巻、初ページ - 終ページ、年

総説

番号・著者、
 題目
 誌名、巻、初ページ - 終ページ、年

著書

番号・著者、
 題目
 誌名、巻、初ページ - 終ページ、年

その他(学会等における招待講演、特許等)

番号・講演者、申請者等
 題目
 学会名、特許番号、年等

[業績目録作成上の注意事項]

1. 原著、総説、著書、その他に分けて、発表(発行)の新しい年月日順に記載し、その他の項目の最後には学位論文の論文題目を記載する。
2. 共著の場合は全員の氏名を記載し、応募者の氏名にアンダーラインを付ける。
3. 欧文論文は欧文で、和文論文は和文で記載する。
4. 印刷中のものは受理を証明する書類等のコピーがあればそれを付して記載する。(投稿中のものは記載しない)
5. 主要論文別刷として提出した5編には、 を付ける。
6. ワープロ等で作成・記入し、最下段中央にページ番号を付す。
7. 論文リストの形式については、必要事項が記入されていれば必ずしもこの書式と完全に一致しなくても構いません。